

令和4年度学校評価結果について

多摩市立南鶴牧小学校

校長 森 信 行

学校だより「たいさんぼく」でもお伝えしました、学校評価の結果を掲載いたします。

今年度から保護者・地域、児童、教職員の三者に対して、同項目同内容に質問事項を揃え、それぞれの立場による見方や意識していることの様子を比較しやすくしました。

幾つかの項目について、表の下にコメントを添えております。

令和4年度学校評価結果			()内数値=W(分からない)		2023/2/27	
	保護者・地域	前年比	児童	前年比	教職員	前年比
かしこく	分かりやすい授業	92(6)	+4	93	+4	96
	協働的、対話的、解決力	90(6)		87		100
	外部人材、体験的学習	87(8)	-4	92	+4	100
	タブレットPCの活用	86(5)	+13	92		96
	図書室活用、読書活動	95(2)	+21	87	+7	92
なかよく	道徳授業による心の育成	88(6)	+6	89	+2	100
	異学年、特別支援学級等との交流	82(12)		88		92
	いじめ等への対応	72(20)		92		100
たくましく	体育授業の充実と運動の楽しさ	93(3)	+8	83	-6	84
	委員会、芝生等によるボランティアマインド	86(7)		82		92
	行事による充実感や達成感	87(7)		95		100
特色	自然環境や環境問題を扱う学習	89(7)	-5	90	+1	96
	校庭芝生を通した愛校心	90(4)		98		100
	わかばとの連携	57(38)		設問無し		96
	合唱団の活動	69(26)		設問無し		100
家庭や地域	地域の教育力	91(6)		81		100

前年度のデータ無し

【タブレットPCの活用】

1人1台の端末が配布されて2年目になりました。学年の段階に応じた活用が定着してきたことで、保護者・地域の皆様からは前年よりも高い評価をいただいています。個別の意見として、児童個々の事情に応じた柔軟な使用方法、学級の中で使う児童と使わない児童が混在してもよいのではないか、との声も

寄せていただきました。今後、特別支援学級の実践例等も踏まえて、検討と試行を重ねていきたいと思ひます。

【図書室活用、読書活動】

読書活動の充実について、保護者・地域、児童から前年度を大きく上回る評価をいただきました。読書活動については、教員の直接的な指導だけではなく、司書担当職員や読み聞かせボランティアの皆さんの力もお借りして進めてきました。また、文学等に親しむ行為だけではなく、広く学習活動に活用している様子も含めて年間を通じて紹介してきました。特に本校のホームページでは年間60本を超える、読書活動に関連する記事を掲載し、普段の様子も知っていただけるようにしました。読書は万学の基礎、との思ひで令和5年度も推進していきます。

【体育授業の充実と運動の楽しさ】

保護者・地域の方々からは高い評価をいただけていますが、児童からは前年度を下回る結果になりました。芝生の校庭や外部施設による水泳授業等の充実した環境があるにもかかわらず、残念な結果となりました。この結果をしっかりと受けとめ、授業の充実をはじめとした諸活動の推進も行っていきたいと思ひます。